



行政改革推進委員会が根本市長へ答申 牛久市第7次行財政改革大綱(案)

牛久市第7次行財政改革大綱(案)について、行政改革推進委員会(宮原節子会長)が市長への答申を行いました。

行政改革推進委員会は、市長から委嘱された10人の委員で構成されており、市の行財政改革の指針を定める牛久市第7次行財政改革大綱(案)について、昨年8月に市長から諮問を受け審議を重ねました。同委員会からの答申をもとに、市では第7次行財政改革大綱を策定し、さらなる行財政改革を進めます。



未来のうしくのために 牛久市のまちづくり作文

9月、NPO法人牛久駅前かつぱつ化実行委員会の主催により、市内の高校生を対象に牛久市のまちづくりに関する作文を募集しました。これは、市民の皆さんにまちづくりに対する関心を持っていただくことを目的として開催したものです。優秀賞には3人の生徒が選ばれ、表彰されました。受賞作品は市ホームページで公開しています。



優秀賞

- ・森 彩華さん(牛久栄進高等学校2年)
- ・長嶋 叶愛さん(牛久栄進高等学校1年)
- ・原井 菜美さん(牛久栄進高等学校1年)



国道6号牛久土浦バイパスの建設促進を要望 国土交通省に対し要望書を提出

1月14日、根本牛久市長が会長を務める「牛久市・つくば市・つくばみらい市交通体系整備促進連絡協議会」は、安藤土浦市長が会長を務める「一般国道6号・都市計画道路牛久・土浦線等建設促進期成同盟会」と合同で、国土交通省池田道路局長に対し、国道6号牛久土浦バイパスの建設促進について要望活動を実施し、要望書を提出しました。

当バイパスの建設促進の強い要望に対し、池田道路局長より「早期の完成に向けて引き続きしっかりやっていきます」と回答をいただきました。当日は、藤田牛久市議会副議長、池辺牛久市議会議員、山岡茨城県議会議員にも同行していただき、池田道路局長に対し地域全体で強く望んでいることを訴えました。



新たにシルバーリハビリ体操指導士が誕生 シルバーリハビリ体操指導士

今年2月、6日間のシルバーリハビリ体操指導士3級養成講習会を修了した12人の体操指導士が、新たに誕生しました。

シルバーリハビリ体操指導士は、牛久市シルバーリハビリ体操指導士会に所属し、皆さんのお住まいの地域で体操普及と介護予防に取り組んでいます。シルバーリハビリ体操は、茨城県で考案された日常生活動作をスムーズにするための筋力と柔軟性の向上を目指す介護予防体操。シルバーリハビリ体操が初めての方も、ぜひこの機会に体操に参加し、体を動かしてみませんか? 気さくで優しい指導士が、素敵な笑顔で迎えてくれます。参加できる日程は、毎月回覧の「支援センター便り」裏面に地区ごとに掲載しています。



春を告げる、おひな様が勢ぞろい

かっぱの里 うしくのひなまつり

2月15日から3月3日まで、「かっぱの里 うしくのひなまつり」が中央生涯学習センターで開催され、色鮮やかなつるし雛や個性豊かな創作人形が会場を彩っています。初日は、お茶会、大正琴・オカリナの演奏会、ひなマルシェのイベントが行われ、多くの方が会場を訪れました。訪れた人たちは、つるし雛の細かな細工や一体一体異なる人形の表情などに見入っていました。



子どもたちに発明工夫の喜びを

牛久市少年少女発明クラブ

牛久の子どもたちに創作活動を楽しんでもらおうと、ボランティアの指導員のもと、向台小学校図工室で月に2回土曜日に「少年少女発明クラブ」を行っています。2月15日は「ピタゴラ装置」の製作。浮かぶアイデアを次々と実践しながら、ビー玉をゴールまで運んでいました。



友だちと協力しピタゴラ装置を作る子どもたち。
ピタゴラ装置の動画は右のQRコードから。



現在、来年度のクラブ員を募集しています。

問 村瀬 ☎090-4524-1025 (締切3月18日(水))

寄 付 温かい善意ありがとうございます

●生命保険茨城県協会から

1月10日、生命保険協会茨城県協会から茨城県社会福祉協議会に軽自動車3台の寄贈の申し出があり、そのうち1台を牛久市社会福祉協議会で寄贈を受けました。

今後はこの車両を活用し、在宅福祉サービスの充実強化に努めていきます。



●グリーンジュースコンペから

1月14日、グリーンジュースコンペ(有志ゴルフ団体)から、年間8回開催したチャリティーゴルフ大会で集めた寄付金31,000円を牛久市社会福祉協議会に寄付していただきました。多くの方が健康になるよう、地域福祉の振興に使わせていただきます。



「もしものとき」のために

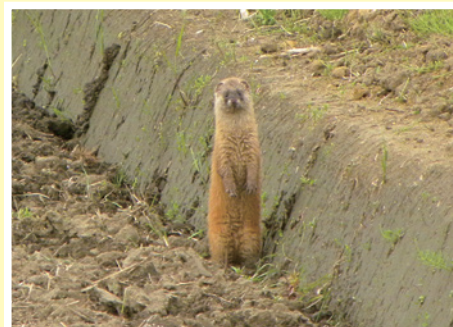
DCMホームマック(株)と災害協定締結

1月16日、市とDCMホームマック(株)が「災害時における生活物資等の調達および供給に関する協定」を締結しました。

これにより、市は災害発生や発生の恐れがあるときに同社から生活物資などの供給を受けることができるようになります。



里山の農耕地周辺で出会うことの多い茶褐色から黄褐色をした小型の獣(哺乳類)で、胴長で耳が丸く鼻筋から目のまわりが黒っぽい特徴があります。体長はオスが27〜37cm、メスが16〜25cmと性別によって大きな差があります。果実なども食べますが主に肉食で、野ネズミなどの小動物や昆虫の他、水中を泳ぎ魚やカエルなども捕食します。昼も夜も活動し、人に出会うと、逃げる途中で振り向いて立ち上がり、こちらを見るようなしぐさをするのがよくあります。



ニホンイタチ(日本鼬)
ネコ目 イタチ科

しぜん大好き